

ビジョン

サステナビリティ経営を実践する

“真のグローバル・ゼネラルコントラクター”

サステナブルな建設事業活動を通じて

社会の持続的な発展に貢献する

五洋建設グループは、

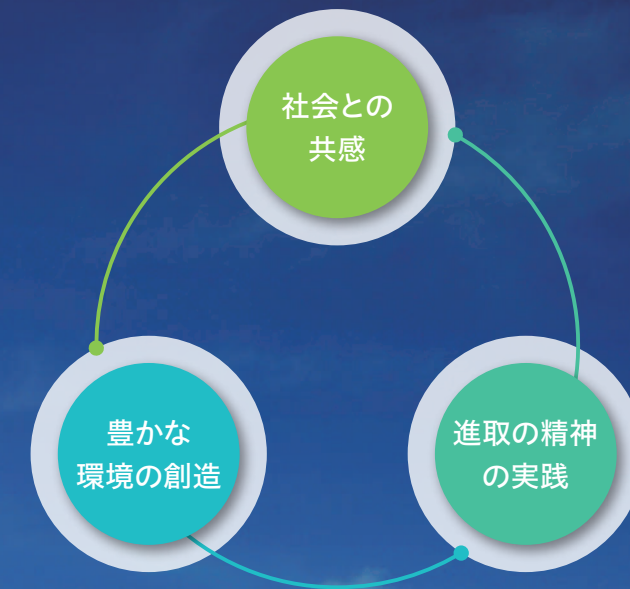
「良質な社会インフラ・建築物の建設こそが最大の社会貢献」と考えて、建設事業活動を行います。

事業活動において、技術に裏打ちされた確かな安全と品質の提供はもちろんのこと、

ESGの観点からあらゆるサステナビリティの課題に真摯に取り組むことで、

臨海部と海外に強みを持つ真のグローバル・ゼネラルコントラクターとして社会の持続的発展に貢献します。

経営理念



社会との共感

高い品質の建設サービスを通じ、顧客や取引先、株主や地域社会に貢献し、信頼されることで持続的に発展し続ける企業を目指します。

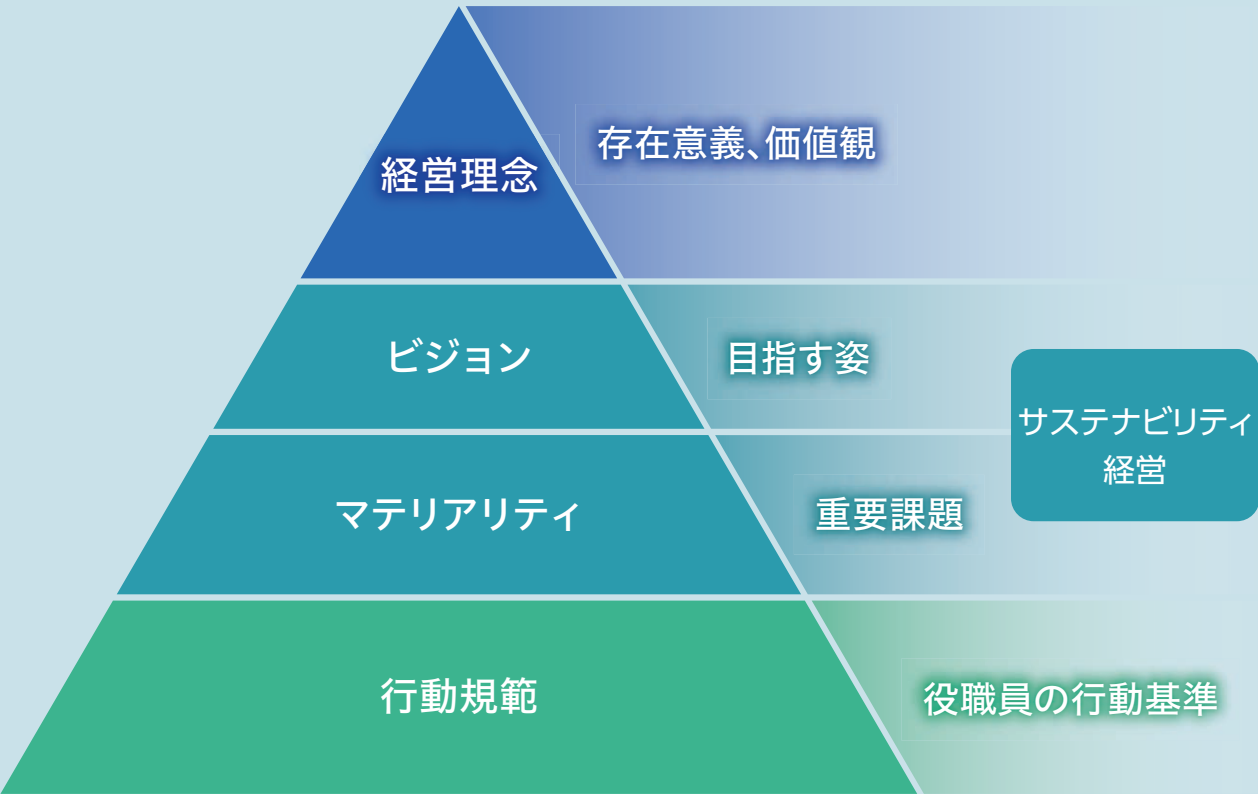
豊かな環境の創造

豊かな自然環境を後世に伝えていくことは社会生活、経済活動の礎であることを強く認識し、地球環境に配慮したモノづくりを通じて、安全で快適な生活空間と豊かな社会環境を創造します。

進取の精神の実践

顧客や社会のニーズに対し、実直に応えるとともに、企業を取り巻く社会の変化に対して常に進取の気概を持って挑戦します。

五洋建設グループの理念体系



経営理念:P2 ビジョン:P1 マテリアリティ:P32をご覧ください

五洋建設グループ 行動規範

1. 誠実な企業活動

- 1) 法令等の遵守
- 2) 公正な競争と適正な取引
- 3) 取引先とのパートナーシップ推進と持続可能なサプライチェーンの構築
- 4) 適正な会計処理・納税
- 5) 情報・資産の適切な管理と使用
- 6) 贈収賄・腐敗行為の防止
- 7) 反社会的行為の根絶
- 8) リスクマネジメント

2. 人間尊重、社会・環境との共生

- 1) 人権の尊重
- 2) DE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)の推進
- 3) 安全・安心な職場環境づくり
- 4) 良質な社会インフラ・建築物の建設
- 5) 気候変動問題への取り組み
- 6) 環境の保全と創造
- 7) ステークホルダーとのコミュニケーション、会社情報の適切な開示
- 8) 地域社会への貢献

全文はこちら



■ 対象期間

2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)を対象にしています。ただし当該年度以外の内容も一部掲載しています。

■ 対象範囲

原則として、当社グループを対象にしています。対象範囲が異なる場合にはその旨注記しています。

■ 参考にしたガイドライン

- ・環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」
- ・IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
- ・GRI「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」
- ・経済産業省「価値協創ガイダンス」
- ・「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)最終報告書」
- ・SASB(Sustainability Accounting Standards Board)スタンダード

■ その他

会社案内、有価証券報告書などの企業情報は、ホームページでご覧いただけます。

■ 発行時期

2025年10月

お読みいただくにあたって

コーポレートレポート(統合報告書)は、投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆様との総合的コミュニケーションツールとして、当社の理念、戦略、事業活動、サステナビリティの取り組みを掲載しています。本レポートを通じて、当社グループに対するご理解を一層深めていただければ幸いです。また、当社ホームページでは、より詳細なサステナビリティの取り組みに関する情報を網羅的に掲載しています。ぜひご覧ください。



トップページ ▶サステナビリティ

contents 目次

理念とビジョン

ビジョン	01
経営理念	02
理念体系	03
行動規範	03
編集方針	04
五洋建設129年の歴史	05

価値創造戦略

トップメッセージ	07
価値創造プロセス	13
ビジネスモデルと強み	15
特集:洋上風力への取り組み	17
特集:ZEBへの取り組み	19
特集:ICTの活用、生産性向上への取り組み	20
特集:シンガポール進出60周年	21

事業戦略

国内土木部門	23
国内建築部門	25
国際部門	27

サステナブルな経営基盤

サステナビリティ経営の実践	29
マテリアリティ(重要課題)	31
マテリアリティ(具体的取組みと各指標)	33

環境

豊かな地球環境の創造	35
環境マネジメント	36
気候変動問題への対応	37
生物多様性、水域環境	39
資源循環	41

社会

品質マネジメント	43
技術開発	44
人財戦略	45
ウェルビーイングの向上	46
DE&Iの推進(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)	47
人材の確保と育成	49
人権の尊重	51
持続可能なサプライチェーン	53
労働安全衛生	55

ガバナンス

コーポレートガバナンス	57
リスクマネジメント	60
コンプライアンス、腐敗防止	61
ステークホルダーとのコミュニケーション	62
取締役一覧・監査役一覧	63

データセクション

財務・非財務ハイライト	65
連結財務指標の推移	67
会社情報	69
株式情報	70

「進取の精神の実践」 五洋建設129年の歴史

1896年に当社の前身である「水野組」が誕生してから129年。当社は、DNAである進取の精神のもと、国内・海外において、海の土木から、陸の土木、建築へと業容を拡大するとともに、新技術や新分野に挑戦してきました。

第Ⅰ期(1896年～)	第Ⅱ期(1945年～)	第Ⅲ期(1981年～)	第Ⅳ期(1996年～)	第Ⅴ期(2005年～)	第Ⅵ期(2014年～)
「水の土木の水野組」の誕生	進取の精神で事業展開	総合建設業へ	再 建	再 生	進 化
呉を拠点に、海の土木工事を展開 「水野組」が広島県呉市で誕生。港湾土木工事を手掛け、「水の土木の水野組」として発展  4代目水野基次郎水野組創業(1896年)  創業当時の呉港(1890年)  万関瀬戸(対馬)の開削工事受注(1900年)	全国、海外へ雄飛 スエズ運河改修工事を機に海外展開。M&Aにより陸上土木強化、北海道進出で全国展開  戦後初めての大型岸壁工事・大分県津久見港の産業施設整備工事受注(1948年)  スエズ運河改修工事受注(1961年) スエズ運河拡幅増深工事受注(1974年)  日本鋼管福山臨海工業用地造成工事受注(1961年)  ジュロン造船所ドック岸壁工事受注 シンガポールへ進出(1964年)	土木、建築、海外の3事業の展開 バランスの取れた総合建設業を目指して、国内外で建築事業を強化  シンガポール、ジュロン地区トゥース埋立工事受注(1984年)  サンブラザビル受注 香港へ進出(1986年)  ワールド流通センター竣工(1993年)  関西国際空港 第1期空港島、第2期空港島受注(1986年、1999年)	建設市場縮小への対応、負の遺産からの脱却 建設市場が縮小する中、財務の健全化と技術力を生かした本業強化を推進  世界最大級の自航式浚渫船「クイーン・オブ・ペンタオーション」(現:アンドロメダV)シンガポール就役(1999年)  シンガポール、エスプラネード・シアターズ・オン・ザ・ベイ竣工(2002年)  中部国際空港完成(2003年)  アーバンビューグランドタワー竣工(2004年)	臨海部ナンバーワン企業を目指して 臨海部と海外に強みを持つという特徴を生かして、国内土木、国内建築、国際の3部門体制の確立へ  新東名高速道路小河内トンネル完成(2005年)  東京ゲートブリッジ完成(2007年)  九州新幹線玉名津留高架橋完成(2008年)  MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島竣工(2009年)  東京国際空港D滑走路供用開始(2010年)  シンガポール、IONオーチャード・ジ オーチャードレジデンス竣工(2010年)  カイトッククルーズターミナル完成(2013年)	臨海部と海外に強みを持つグローバル・ゼネラルコントラクターへ 土木・建築、国内・海外の部門間連携の推進 洋上風力やZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)等、新分野に挑戦  自航式ポンプ浚渫船「カシオペアV」完成(2014年)  シンガポール、センカン総合病院竣工(2018年)  東京港海の森トンネル完成(2020年)  ヨドバシ梅田タワー竣工(2019年)  久光製薬ミュージアム竣工(2019年)  東京国際クルーズターミナル完成(2020年)  響灘洋上風力建設完成予定(2025年)

